

第45回

山形県学童保育研究集会

こどもをまんやかに～共にそだちあう・そだてあう学童保育～

◆日時 2024年12月1日(日) 10:00開会/16:15終了

◆場所 天童市総合福祉センター・天童中部公民館

保護者の願いで生まれた学童保育。

「ただいま～」と帰ってくるこどもたちを、指導員が「おかえり～」と迎えます。こどもは放課後の時間を一人ぼっちで過ごすことなく、遊び、宿題をし、おやつを食べ、のんびりして過ごします。

そんな学童保育は、こども・指導員・保護者が一緒に生活をつくり、地域や行政に支えられ、まさに「地域こども・子育て支援事業」として拡充してきました。

しかし、山形県内の状況を見ても、いまだに「待機児童」「不十分な施設整備」「指導員不足」など課題があります。コロナ禍が拍車をかけた「人間関係の希薄化」も深刻です。個人や各クラブだけで解決できないことも、本研究集会で県内各地の関係者が交流し学ぶことで、解決に向けて一歩でも前進できるよう願っています。

主 催

山形県学童保育連絡協議会

主 管

一般社団法人天童市放課後児童クラブ連絡協議会

後 援 (予定)

山形県・山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・寒河江市・上市市・村山市・長井市・天童市・東根市
尾花沢市・南陽市・山辺町・中山町・河北町・西川町・朝日町・大江町・大石田町・金山町・最上町・舟形町
真室川町・大蔵村・鮭川村・戸沢村・高畠町・川西町・小国町・白鷹町・飯豊町・三川町・庄内町・遊佐町
山形県教育委員会・山形県社会福祉協議会・山形県民生委員児童委員協議会・山形県保育協議会・山形県連合
小学校長会・山形県教職員組合・公益社団法人山形県私立幼稚園認定こども園協会・NPO 法人みらい子育てネ
ット山形・山形県PTA連合会・全山形教職員組合・山形県児童館等連絡協議会・山形県民間立保育園協議
会・山形県労働組合総連合・山形県保育関係団体連絡会・天童市教育委員会・天童市社会福祉協議会・天童市
民生児童委員連絡協議会・天童市小中学校長会・天童市PTA連合会・天童市子ども会育成会連合会

◇日程 12月1日(日)

9:15 10:00 10:45

12:15 13:30

16:15

受付	開会行事 基調報告	全体講演	休憩	分科会
----	--------------	------	----	-----

◇基調報告 『学童保育の現状と課題』

全国学童保育連絡協議会 事務局長 千葉 智生 氏

◇全体講演

『子育てハッピーアドバイス』

～小学生のところに寄り添って～(仮題)』

講師 明橋 大二 氏(真生会富山病院心療内科部長)



プロフィール

1959年大阪府生まれ。1985年京都大学医学部卒業。

精神病理学・児童思春期精神医療を専門に、国立京都病院内科、名古屋大学附属病院精神科、愛知県立城山(しろやま)病院精神科を経て、現在は真生会富山病院心療内科、児童相談所嘱託医、一般社団法人HAT代表理事、NPO法人子どもの権利支援センターぱれっと理事長。

富山県虐待防止アドバイザー、富山県いじめ問題対策連絡会議委員、南砺市政策参与。TV出演として、「情報ライブミヤネ屋」「世界一受けたい授業」「報道ステーション」など。

著書等

『子育てハッピーアドバイス』『忙しいパパのための子育てハッピーアドバイス』

『子育てハッピーアドバイス 大好き!が伝わるほめ方・叱り方』

『見逃さないで!子どもの心のSOS』

『みんな輝ける子に』『親と子の心のパイプは、うまく流れていますか?』など(1万年堂出版)

『生きるのがラクになるたったひとつの言葉』(主婦と生活社)など。

翻訳書

『ひといちばい敏感な子(HSC)』(青春出版社)、

『ひといちばい敏感なあなたが人を愛するとき』(青春出版社)。

子育てハッピーアドバイスは、シリーズで500万部を超えるベストセラーとなっているほか、韓国、中国、台湾、タイ、ベトナムにて、翻訳出版されている。

◇分科会

<p>第1分科会</p>	<p>指導員の専門性ってなんだろう～保護者とともに考える～</p> <p>講師:神奈川県横須賀市指導員 飛鳥井 祐貴 氏</p> <p>指導員の仕事は、安全に配慮しながら学童保育での生活をこどもとともに作る事です。「こどもが安心して通い続けられる」、「保護者の子育てを支える」ため、こどもと指導員の関係から生まれる安心感をベースに、日々の生活や遊び、保護者との伝え合いの中で大切にしたいことを事例を通して学び合ひましょう。</p>
<p>第2分科会</p>	<p>いまどきのこどもたち～家庭・学校・学童保育・地域で～</p> <p>講師:聖和学園短期大学 小森谷 一朗 氏</p> <p>「AI の発達によって、今ある職業の半数近くは将来なくなってしまう」という研究があります。先の見えない社会で、こどもたちはどんな状況におかれているのでしょうか。増加する不登校や引きこもり、また学童保育でイライラをぶつけるこどもたち、子育てを取り巻く課題を学び、こどもを理解し寄り添う大切さを考えましょう。</p>
<p>第3分科会</p>	<p>こどもの育ちに欠かせない「大人がつながる子育て」</p> <p>助言&進行 山形県学童保育連絡協議会役員など</p> <p>「こどもをまんやかに」保護者同士・保護者と指導員・地域がつながって子育てできれば、こどもが健やかに育ちます。しかしコロナ禍を経て、大人同士の関係も希薄になったといわれる昨今、孤立した子育てをなくし、支え合って子育てできるように必要なことは何か、交流の中からそのヒントを共有しましょう。</p>
<p>第4分科会</p>	<p>すべての人に届けたいアンガーマネジメント</p> <p>～思いが伝わる叱り方で子育てをもっと楽しく～</p> <p>講師:(一社)日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントチーフファシリテーター 山形県家庭教育アドバイザー(元養護教諭) 須藤好子 氏</p> <p>こどもを感情的に怒ってしまい、後悔することはありませんか。怒りの感情をコントロールして、自分の感情に責任を持ち、相手に上手に伝えることができれば、こどもと保護者、こどもと指導員の関係はより良いものになるはずで。子育ても人生も穏やかに充実したものになるよう、自分を見つめ振り返ってみましょう。</p>
<p>第5分科会</p>	<p>学童保育の現状と課題～より良い学童保育をめざして～</p> <p>講師:全国学童保育連絡協議会 事務局 千葉 智生 氏</p> <p>こども家庭庁が発足して 2 年目の今、こども政策はどのようになっているのでしょうか。学童保育は待機児童をなくす量的拡充だけでなく、常勤支援員複数配置による補助金のアップなど質の向上が重要になっています。学童保育の制度・施策の現状と課題を明らかにし、さらなる充実のために必要なことを学びましょう。</p>